

県内の景気動向

全産業で改善の動き

建設業で大幅な改善

1999.2

- 本調査の対象企業は県内の中小企業1000社
- 今回調査の有効回答企業数は381社
- 回答企業の業種別内訳
製造業181社・建設業41社・卸売業45社・小売業64社・サービス業50社

概況

3月の調査結果（2月末時点）によると前回調査と比較し、全産業ベースの総合全項目（業況・売上・採算・資金繰り）で僅かながら改善の動きとなった。

業況をみると、建設業で大幅な改善が見られ、総合では改善となる。売上では悪化回答が大幅に減少した結果、改善幅が一番大きなものとなった。採算をみると、卸売業とサービス業で若干悪化となるも建設業で大幅な改善となる。資金繰りは悪化回答の減少により、僅かながら改善となった。

3カ月前の予想は、当月調査結果のD I値と比較してみると、全産業ベースでの総合全項目で改善を見通している。資金繰りを除いた項目で悪化回答が大きく減少し、大幅な改善予想となった。また、業種別では製造業で特に大きな良化を見込んでいる。

今回の調査結果では、業種別で前回調査で悪化となった建設業が全項目D I値を戻し、大幅な改善が見られ、また、項目別では、業況と売上で全業種改善という結果になった。全業種にわたる悪化回答の減少が改善の動きの要因となった。

業況

製造業では「食料品」で改善。「木材・木製品」「一般機械」で悪化となった。また、「織物」は厳しい状況が続いている。建設業は「土木」「建築」ともD I値を大きく戻し、改善となる。卸売業は「青果物卸」がD I値がプラスに転じる大幅な良化となったが、「衣服卸」はD I値を下げ悪化となる。小売業は「家具・建具」でプラスD I値に転じる改善となったが、「衣料」「家電品」は大幅な悪化となった。サービス業は「情報サービス」が改善となるも、「タクシー」でD I値を大きく下げ悪化となった。

売上

製造業では「食料品」「電気機器」「輸送用機器」「プラスチック」はD I値を大きく戻し、改善となる。建設業では「土木」「建築」とも改善。特に「建築」は大きな改善幅となった。卸売業では「飲食料卸」でプラスD I値、「建築材料」でD I値を大きく戻す改善となった。小売業は「中小スーパー」「家電品」でD I値を下げ悪化となるも、「家具・建具」はプラスD I値に転じる改善になった。サービス業は「観光旅館」で改善。「タクシー」は悪化となり厳しい状況が続いている。

採算

製造業では「食料品」「漆器」「プラスチック」で改善。「木材・木製品」「窯業・土石」「一般機械」「精密機器」で悪化となる。建設業は「土木」「建築」とも僅かながら改善となる。卸売業は「青果物卸」でプラスD I値に転じる改善となるも「機械器具卸」はD I値を下げ悪化となる。小売業は「中小スーパー」がプラスD I値に転じる改善。「衣料」も僅かながら改善となった。サービス業は「観光旅館」「タクシー」で僅かに悪化となるも、「運送」ではD I値を戻している。

資金繰り

製造業では「鉄鋼・非鉄」でD I値を大きく戻し改善となるも、「酒造」「ニット」でD I値を下げ、悪化となった。建設業は「土木」で大きな改善となり、マイナスD I値が解消となる。卸売業では「建築材料卸」で悪化となるが、その他の業種はほぼ前月並みの結果となった。小売業は「自動車販売」でプラスD I値に転じる改善、「家具・建具」もD I値を大きく戻す改善となる。サービス業は「運送」でD I値を戻し改善となったのを除いてはほぼ前月並みの結果となった。